



株主の皆様へ

第125期 事業報告書

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

株式会社 豊田自動織機
TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

目次

■株主の皆様へ	2
■連結業績の概要	3
■トピックス	5
■トヨタ L&F カスタムズセンターのご紹介	7
■連結決算	連結貸借対照表 9
	連結損益計算書 10
	連結キャッシュ・フロー計算書
■単独決算	貸借対照表 11
	損益計算書 12
	利益処分
■会社の概況	株式の状況 13
	会社の概要 14
■株主メモ	裏表紙
ホームページのご案内	

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第125期事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期の連結業績につきましては、自動車部門、産業車両部門および繊維機械部門がいずれも増収増益となったことにより、売上高・経常利益とも過去最高を更新し、売上高は初の1兆円超を達成することができました。

当期の配当金につきましては、昨年11月に中間配当金として1株につき10円をお支払いさせていただきましたが、期末の配当金につきましては1株につき12円とし、年間としては前期に比べ3円増加の22円とさせていただきました。これにより、平成13年3月期より3期連続の増配となります。

また、株主の皆様への還元の一環として、昨年の株主総会でご承認いただきました自己株式2千万株の取得を実施いたしました。

今後とも株主の皆様のご期待に沿うべく、企業価値の向上に一層努力をまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

2



取締役会長 横井 明 取締役社長 石川忠司

連結業績の概要

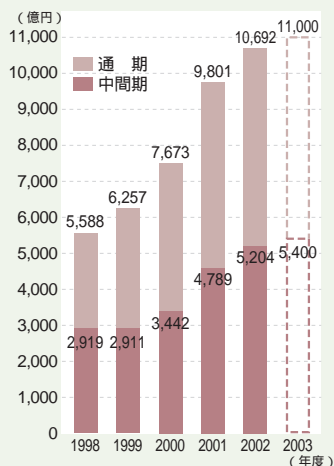
営業の概況

当期における経済状況は、欧州では緩やかながら回復基調にありましたものの、米国では後半からイラク情勢の悪化などにより減速感を強めてまいりました。また、アジアでは総じて堅調に推移しましたが、日本では株式市場の悪化に加え、民間設備投資や個人消費の低迷など、依然として景気は厳しい状況にありました。

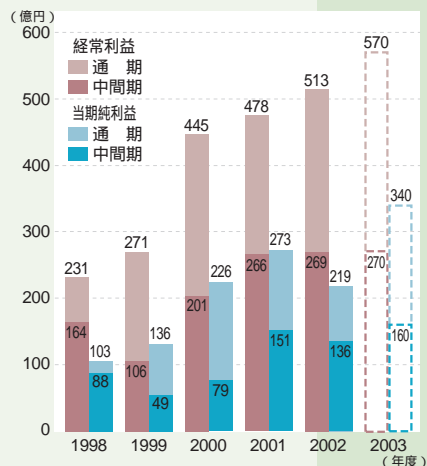
このような状況のなかで、当期の連結売上高につきましては、積極的な拡販活動などにより、前期を891億円(9%)上回る1兆692億円となりました。利益につきましては、労務費、生産準備費用等の増加はありましたものの、売上げの増加に加え、全社的な原価改善活動の展開により、経常利益は前期を35億円(7%)上回る513億円となりました。なお、当期純利益は、株価の下落などに伴う投資有価証券等評価損、ならびに工場再配置に伴う固定資産除却損を計上したことにより、前期を54億円(20%)下回る219億円となりました。

3

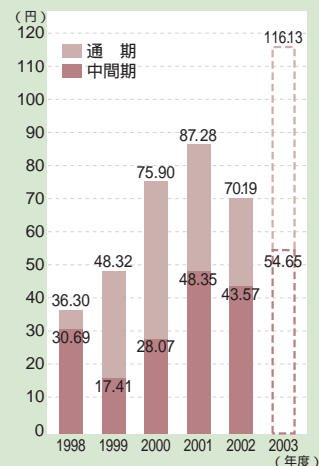
売上高



経常利益・当期純利益



1株当たり当期純利益



(注) 2003年度については予想値です。

セグメント情報

[自動車]

自動車部門の売上高は、前期を319億円(6%)上回る5,954億円となりました。このうち車両は、ヴィッツは減少したものの、本年1月より生産を開始した北米向けカローラが寄与し、売上高は、前期を18億円(1%)上回る2,819億円となりました。エンジンにつきましては、昨年8月より生産を開始したA Z型ガソリンエンジンや、U Z型ガソリンエンジンの増加などにより、前期を28億円(2%)上回る1,176億円となりました。また、カーエアコン用コンプレッサーは、欧米カーメーカーへの拡販活動を進めるとともに、東浦工場(愛知県東浦町)の新設や大府工場の再配置など、生産能力を増強してまいりました結果、前期を248億円(16%)上回る1,779億円となりました。

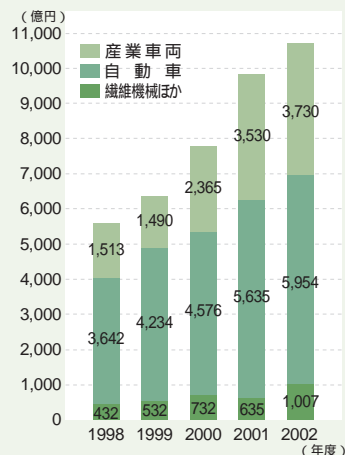
[産業車両]

産業車両部門におきましては、本年1月より販売を開始したカウンター3輪タイプバッテリーフォークリフト「GENEO-E」など、お客様のニーズに対応した新商品の開発や、販売店と一体となった拡販活動を進めてまいりました。その結果売上高は、前期を200億円(6%)上回る3,730億円となり、フォークリフトのグローバルシェア25%を達成することができました。中期的には30%超を目標とし、事業展開を進めてまいります。なお、昨年4月に、高所作業車を主力製品とし、国内で圧倒的なシェアを占める株式会社アイチコーポレーションと業務資本提携を結び、本年5月には、提携関係をさらに強固にするため、同社を子会社化いたしました。

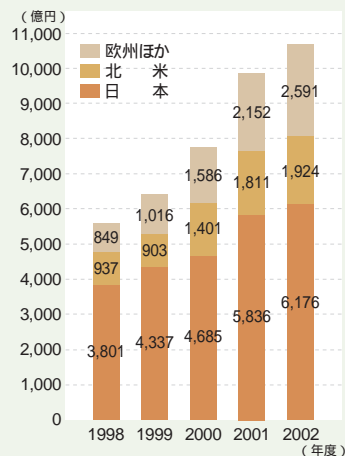
[繊維機械]

繊維機械部門におきましては、エアジェット織機の売上げは中国からの大量受注により前年比178%増の9,250台を達成し、またウォータージェット織機についても33%増の1,630台となりました。その結果売上高は、前年を180億円(59%)上回る487億円となりました。また、多様化・高度化するお客様のニーズに対応するため、本年1月には、新型エアジェット織機「JAT710」の販売を開始し、競争力のさらなる向上をはかっております。

事業の種類別売上高



市場別売上高



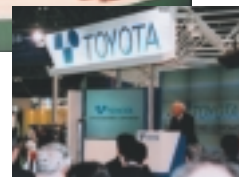
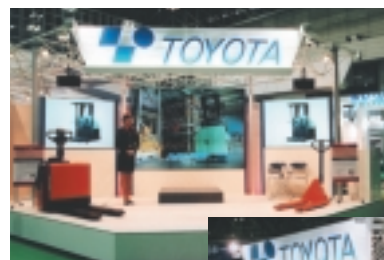
トピックス

第36回東京モーターショーに出展

昨年10月、千葉県・幕張メッセで第36回東京モーターショーが開催されました。

自動車部品としては、カーエアコン用コンプレッサー、エレクトロニクス部品等を展示いたしました。世界に先駆けて開発したCO₂冷媒コンプレッサーは、燃料電池車に対応しており、地球環境保全への貢献度が高い製品として注目されています。

また物流機器として、インドア物流の効率化を提案する「ミニムーバー」や「パレットトラック」、情報通信のインフラ整備を支える高所作業車等を展示し、お客様からご好評をいただきました。



GENEO-E発売

カウンター3輪タイプバッテリーフォークリフトをフルモデルチェンジし、本年1月、「GENEO-E」として販売を開始いたしました。

「GENEO-E」には、これまでの「GENEO」シリーズでご好評をいただいております「新・安全システムSAS」などを採用し、大幅な商品力向上をはかりました。

カウンター4輪タイプなみのパワー・機動力とリーチタイプなみの小回り性を併せ持ったコンパクトバッテリーフォークリフトとして、今後の活躍が期待されています。



中国でのフォークリフト事業の取り組み強化

当社と豊田通商株式会社は、本年5月、中国にフォークリフト等の販売会社豊田産業車輛(上海)有限公司を設立いたしました。

急速な経済成長や規制緩和により、需要拡大が見込まれる中国市場に対応するため、新たに現地資本のディーラー9社と販売契約を締結。新販売会社を核に強固な販売網を構築してまいります。

本年4月よりフォークリフトの生産を開始した豊田工業(昆山)有限公司および日本から製品の供給を行い、中国市場において競争力の強化をはかります。



ディーラー キックオフミーティング

豊田工業(昆山)有限公司
生産1号車



CO₂冷媒コンプレッサーを開発

現在カーエアコン用コンプレッサーの冷媒には、オゾン層を破壊しない代替フロンが使われていますが、地球温暖化の面でさらに環境に優しいCO₂を冷媒とした電動コンプレッサーを(株)デンソーと共同で開発いたしました。

世界初のカーエアコン用CO₂冷媒コンプレッサーは、トヨタ自動車(株)が昨年12月政府に納入した燃料電池車第1号のカーエアコンに装着され、新冷媒コンプレッサーの歴史的第一歩を踏み出すものとなりました。



中部国際空港のGSE整備新会社設立に基本合意

当社と日本航空(株) 全日本空輸(株) 豊田通商(株) トヨタエルアンドエフ中部(株)は、中部国際空港におけるGSE*整備事業を行う合併会社の設立に合意いたしました。新会社は、エアライン2社の長年の実績を基に、トヨタグループが培ってきた構内物流機器に関するノウハウを活用し、中部国際空港で使用される車両および設備機材の整備品質の維持・向上と整備コスト削減をはかります。

*GSEとは航空機運航をサポートする車両・設備機材

新会社の概要

会社名: セントレアGSEサービス株式会社

会社設立: 2003年9月予定

所在地: 愛知県常滑市セントレア(空港島内)

資本金: 約5億円

出資比率: (株)豊田自動織機 35% 日本航空(株) 25.5%
全日本空輸(株) 25.5% 豊田通商(株) 10%
トヨタエルアンドエフ中部(株) 4%

事業内容: GSEおよび車両の整備・販売・リース等
CNG(圧縮天然ガス) ガソリンおよび軽油等の販売
保険代理業、車両用品の販売・リース等

豊田自動織機グループ 環境宣言を発行

本年1月1日付で「グループ環境宣言」を発行いたしました。「責任・向上・調和」をコンセプトに関係会社を含めたグループ全体としての環境への取り組みを強化してまいります。

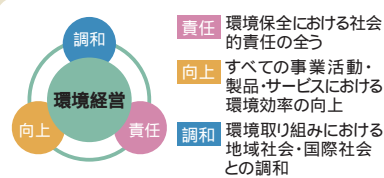
豊田自動織機グループ環境宣言

【トップコミットメント】

豊田自動織機グループは、

法規制遵守はもとより、一層の環境負荷低減に努めます。
環境効率を高めたクリーンな製品・サービスを市場に提供します。
地球温暖化の防止、資源・エネルギーの有効活用、環境負荷物質の削減を考慮したモノづくりを行います。
お客様・株主様をはじめ、多岐にわたる方々とのコミュニケーションを大切にし、環境経営の継続的な改善に努めます。
企業市民として地域や国際社会の様々な環境取り組みに積極的に参画いたします。

【ビジョン】



トヨタ L&F カスタマーズセンターのご紹介

L&F(ロジスティクス& フォークリフト)事業の取り組み

..... 従 来

安全で低コストな物流機器を調達したいというお客様のニーズに応え、フォークリフトからシステムに至る豊富な商品群とサービスをご提供してまいりました。



..... 今 後

従来の取り組みに加え、これまでお客様にご提供してきた数多くのシステム提案や、トヨタ生産方式に代表される当社の生産現場で培ったノウハウをベースに、個々のお客様の物流全体をとらえた「物流の全体最適提案」、すなわち物流のトータルコストを低減する「コンサルティング型営業」を強化することにより、事業領域を拡大してまいります。

カスタマーズセンターとは

千葉県の物流総合展示場 カスタマーズセンターは、オールトヨタが培ってきた物流ノウハウと豊富な商品を組み合わせ、お客様に最適な物流ソリューションをご提案する**コンサルティング型ショールーム**です。トヨタL&Fの経験豊かな生産・物流ノウハウを体験いただきながら、お客様の抱える課題や問題を共に解決しています。

【トヨタの物流ソリューションの特徴】

調査・分析

お客様の物流現場を徹底調査し、ローコスト化の視点で、ムダ・ムラ・ムリを排除し、より良いしくみをご提案します。

基本設計

人・機械・情報・時間の調和をはかる物流システムづくり。過剰設備とならないよう最適なハードを選定します。

実施設計

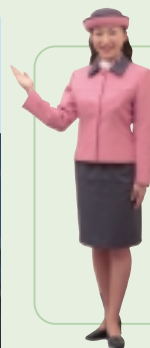
施工・完成・稼動

アフターサービス 運用改善

機器のメンテナンス稼動状況を分析したデータをもとに、お客様の運用改善をお手伝いします。

開館以来の来場者数が1万人を突破

カスタマーズセンターは昨年9月、来場者が1万人を突破いたしました。オープン後、1年5ヵ月での達成です。今後も館内見学や個別のご相談に、誠心誠意お応えしてまいります。



私たちが館内をご案内します。

【L&Fフィデル】

Fidele(フィデル)とは、フランス語で「頼もしい」の意味。確かな知識とおもてなしの心で、当センターをご案内いたします。

ソフト＆ハード両面でのサポート

物流現場の再現による改善提案

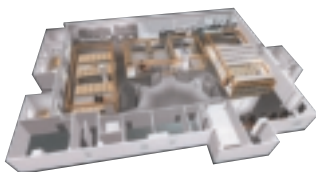
<物流システム 展示体験ゾーン>

実際の物流機器を用いた実演を交え、「物の流れ」と「情報システム」の連動により徹底した効率化・合理化を目指したこれらの物流センターを体験いただけます。



<物流機器 展示体験ゾーン>

中小規模の物流現場をモデルに物流機器を用いた改善事例をご案内。お客様ごとに異なる物流現場での課題や問題点を見出し、改善に向けた具体的なご提案をいたします。



<カスタマーズルーム>

豊富な経験を持つトヨタエンジニアが、最適な物流環境づくりのご相談を承ります。



物流機器・システムのご紹介

ニーズに合わせ、最適な機器や用品をお選びいただけるよう、実機の大半を取り揃えており、ご希望に応じ、試乗していただけます。

<フォークリフトツアー>

様々なデモンストレーションをご覧いただくことにより、トヨタフォークリフトの優れた性能をわかりやすくご理解いただけます。



パートナーラック(移動タイプ)



ロードソーター

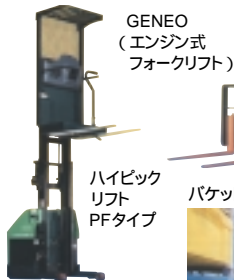


ラックソーターP
(ユニット式自動倉庫)



GENEO-R
(バッテリー式
フォークリフト)

ローリフト



GENEO
(エンジン式
フォークリフト)

ハイピック
リフト
PFタイプ



パレット式自動倉庫



トヨタ L&F カスタマーズセンター

千葉県市川市二俣717-5 JR京葉線 二俣新町駅から徒歩1分

お問い合わせ、見学のお申し込みはこちらから / ☎0120-350587

インターネットでセンター体験を / ホームページ <http://www.lf-customers.com/>

連結決算

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 (平成15年3月31日現在)	前 期 (平成14年3月31日現在)	科 目	当 期 (平成15年3月31日現在)	前 期 (平成14年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流 動 資 産	371,807	295,326	流 動 負 債	393,365	236,639
現 金 預 金	87,840	50,278	支払手形及び買掛金	117,424	111,251
受取手形及び売掛金	119,047	107,820	短 期 借 入 金	78,052	33,371
有 価 証 券	52,780	28,820	1年以内償還の社債及び転換社債	95,692	
た な 卸 資 産	69,140	70,511	そ の 他	102,196	92,016
そ の 他	42,998	37,895	固 定 負 債	494,164	636,094
			社 債	200,300	140,300
			転 換 社 債		75,742
			長 期 借 入 金	36,576	65,941
			繰 延 税 金 負 債	212,355	315,978
			退職給付引当金	34,100	28,839
			そ の 他	10,832	9,292
			負 債 計	887,530	872,733
固 定 資 産	1,278,583	1,475,074	少数株主持分	23,993	18,855
有形固定資産	362,193	337,642	(資本の部)		
建物及び構築物	118,448	102,659	資 本 金	68,046	68,021
機械装置及び運搬具	157,733	149,259	資本剰余金	89,364	89,326
そ の 他	86,011	85,724	利益剰余金	269,380	253,975
無形固定資産	96,773	94,874	その他有価証券評価差額金	331,667	456,415
投資その他の資産	819,616	1,042,557	為替換算調整勘定	16,890	12,361
投資有価証券	762,026	986,354	自 己 株 式	36,483	1,287
そ の 他	57,589	56,202	資 本 計	738,867	878,812
合 計	1,650,391	1,770,401	合 計	1,650,391	1,770,401

(注)当期の連結子会社数は118社、持分法適用会社数は18社となっております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成14年4月 1日から 平成15年3月31日まで)	(平成13年4月 1日から 平成14年3月31日まで)
売 上 高	1,069,218	980,163
売 上 原 価	899,702	828,626
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	117,038	105,206
営 業 利 益	52,477	46,330
営 業 外 収 益	26,335	23,122
営 業 外 費 用	27,438	21,587
経 常 利 益	51,375	47,865
特 別 損 失	7,705	—
税金等調整前当期純利益	43,669	47,865
法人税、住民税及び事業税	28,120	20,842
法 人 税 等 調 整 額	7,304	1,136
少 数 株 主 利 益	919	847
当 期 純 利 益	21,933	27,311

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成14年4月 1日から 平成15年3月31日まで)	(平成13年4月 1日から 平成14年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー(注1)	103,183	81,078
投資活動によるキャッシュ・フロー(注2)	95,120	106,710
財務活動によるキャッシュ・フロー(注3)	57,775	1,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	230
現金及び現金同等物の増減額	65,809	24,177
現金及び現金同等物の期首残高	71,119	95,296
現金及び現金同等物の期末残高	136,929	71,119

- (注1)営業活動によるキャッシュ・フローとは営業活動で生じる現金収支を表します。
- (注2)投資活動によるキャッシュ・フローとは設備投資や出資といった投資活動で生じる現金収支を表します。
- (注3)財務活動によるキャッシュ・フローとは資金の調達・返済、配当金の支払いといった財務活動で生じる現金収支を表します。

単独決算

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 (平成15年3月31日現在)	前 期 (平成14年3月31日現在)
(資産の部)		
流 動 資 産	240,991	180,239
現 金 預 金	60,188	31,149
受取手形及び売掛金	71,477	65,895
有 価 証 券	52,708	28,377
た な 卸 資 産	23,057	25,315
そ の 他	33,560	29,501
固 定 資 産	1,179,351	1,384,847
有形固定資産	225,472	221,206
建物及び構築物	78,211	66,043
機械装置及び運搬具	95,567	95,954
そ の 他	51,692	59,208
無形固定資産	7,937	5,587
投 資 等	945,941	1,158,052
投資有価証券	776,387	994,008
子会社株式・出資金	142,322	138,734
そ の 他	27,230	25,309
合 計	1,420,342	1,565,087

科 目	当 期 (平成15年3月31日現在)	前 期 (平成14年3月31日現在)
(負債の部)		
流 動 負 債	250,849	150,870
支払手形及び買掛金	88,578	85,655
1年以内償還の社債及び転換社債	95,692	
そ の 他	66,579	65,215
固 定 負 債	451,452	549,923
社 債	200,000	140,000
転 換 社 債		75,742
長 期 借 入 金	20,000	
繰 延 税 金 負 債	207,829	311,973
退職給付引当金	22,372	21,056
そ の 他	1,250	1,152
負 債 計	702,301	700,794
(資本の部)		
資 本 金	68,046	68,021
資本剰余金	89,351	89,326
利益剰余金	265,499	251,835
その他有価証券評価差額金	331,626	456,397
自 己 株 式	36,483	1,287
資 本 計	718,041	864,293
合 計	1,420,342	1,565,087

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期 (平成14年4月 1日から 平成15年3月31日まで)	前 期 (平成13年4月 1日から 平成14年3月31日まで)
売 上 高	747,637	693,345
売 上 原 価	656,063	609,986
販売費及び一般管理費	52,164	45,534
営 業 利 益	39,410	37,824
営 業 外 収 益	14,768	13,094
営 業 外 費 用	11,857	10,779
経 常 利 益	42,321	40,140
特 別 損 失	8,882	一
税引前当期純利益	33,438	40,140
法人税、住民税及び事業税	20,015	15,320
法人税等調整額	6,695	195
当 期 純 利 益	20,118	25,015
前 期 繰 越 利 益	50,936	32,347
中 間 配 当 額	3,118	2,815
当 期 未 処 分 利 益	67,937	54,547

利益処分

(単位:百万円)

摘 要	当 期	前 期
当 期 未 処 分 利 益	67,937	54,547
特別償却準備金取崩額	65	21
固定資産圧縮積立金取崩額	8	9
合 計	68,011	54,578

これを下記のとおり処分いたします。

株 主 配 当 金	3,513 (1株につき12円)	3,127 (1株につき10円)
取 締 役 賞 与 金	200	187
監 査 役 賞 与 金	23	21
特 別 償 却 準 備 金	227	305
固定資産圧縮積立金	3	
次 期 繰 越 利 益	64,043	50,936

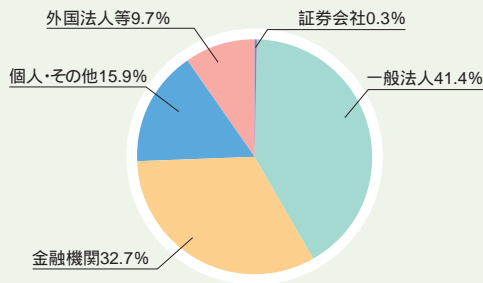
(注)平成14年11月26日に1株につき10円、総額3,118百万円の中間配当を実施いたしました。

会社の概況

株式の状況 (平成 15 年 3 月 31 日現在)

発行する株式の総数	1,091,245,000株
発行済株式総数	313,324,451株
株主数	18,217名

所有者別株式分布状況



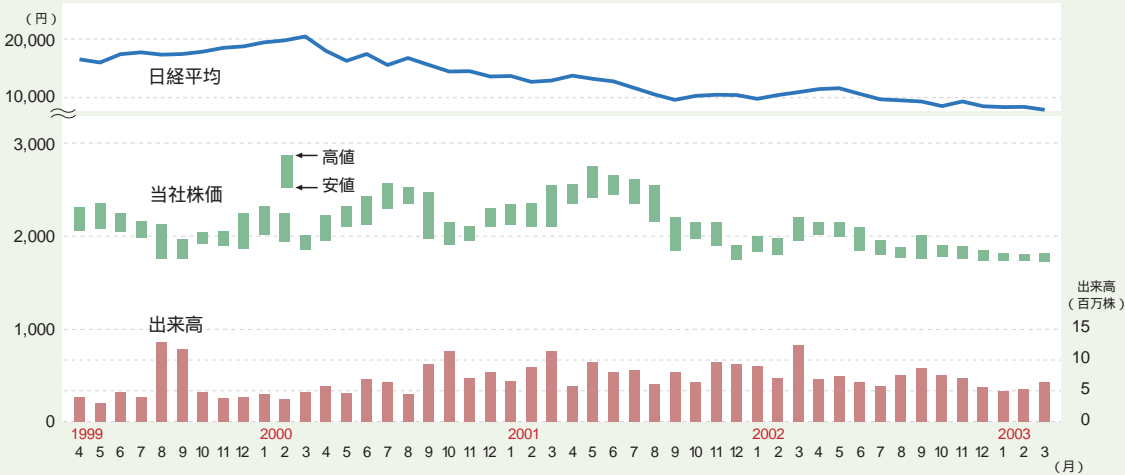
大株主

(上位10名)

株主名	株式数(千株)	議決権比率(%)
トヨタ自動車株式会社	72,316	24.73
株式会社デンソー	27,084	9.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	21,935	7.50
株式会社三井住友銀行	10,938	3.74
カストディアル・トラスト・カンパニー	9,141	3.13
日本生命保険相互会社	8,930	3.05
東和不動産株式会社	7,697	2.63
三井アセット信託銀行株式会社	6,473	2.21
三井住友海上火災保険株式会社	5,878	2.01
豊田通商株式会社	5,264	1.80

(注) 当社は、自己株式(20,547千株)を所有しておりますが、上記の大株主より除いております。

株価の推移



会社の概要 (平成 15年3月31日現在)

創 立 大正15年11月18日

資 本 金 680億円

従 業 員 10,175名

本 社 所 在 地 〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地
TEL (0566) 22-2511 (代表)

工場・事務所 (生産品目)

刈谷工場 (繊維機械、カーエアコン用コンプレッサー)
大府工場 (カーエアコン用コンプレッサー部品、ダイカスト品)
共和工場 (電子機器、車両用プレス型)
長草工場 (車両)
高浜工場 (産業車両、物流システム機器)
碧南工場 (車両用・産業車両用エンジン)
東知多工場 (鋳造品)
東浦工場 (カーエアコン用コンプレッサー部品)
東京支社
大阪事務所

海外生産拠点 (生産品目)

アメリカ4拠点 (産業車両、ウェアハウス用機器、
カーエアコン用コンプレッサーおよび
マグネットクラッチ)

フランス (産業車両)、中国 (索形材)、インド (繊維機械)
ドイツ (カーエアコン用コンプレッサー)
スウェーデン2拠点 (ウェアハウス用機器)
イタリア (産業車両)、カナダ2拠点 (ウェアハウス用機器)

役 員 (平成 15年6月27日現在)

取締役会長 横井 明

取締役社長 石川忠司

取締役副社長 中山尚三 野口紘一郎 豊田鐵郎

専務取締役 遠藤司郎 竹内和彦 佐藤則夫
小西正純 上村伸治郎 松浦達郎

常務取締役 片山 巖 吉田成毅 加藤正文
豊田康晴

取締役名誉会長 豊田芳年

取 締 役 豊田達郎 三矢金平 河野博哉
吉田和憲 竹中健二 山田耕作
加勢田聡 下 昇治 室殿 豊
井上亮二 辻 博文 山北幸男
小川隆希 佐々木一衛

常 勤 監 査 役 御友重孝 伊藤正宣

監 査 役 磯村 巖 白水宏典 牧野 滉

株式に関するお手続きについて

名義変更、住所変更、単元未満株式の買取りなど株式に関する事務はUFJ信託銀行でお取り扱いしておりますので、裏面に記載の連絡先までお問い合わせください。

銀行・郵便局の口座振込払による配当金のお受け取りをご希望の場合は、「配当金振込指定書」に必要事項をご記入・ご捺印のうえ、UFJ信託銀行証券代行部へご提出ください。

株券等保管振替制度ご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会ください。

各種お手続き用紙は、以下の方法でもご請求いただけます。

フリーダイヤル ☎0120-24-4479
インターネット <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>
「株式に関するお手続き」の「お手続き用紙のご請求」をご参照ください。

株主メモ

決 算 期 3月31日

定 時 株 主 総 会 6月

利益配当金支払株主確定日 3月31日

中間配当金支払株主確定日 9月30日

株 式 名 義 書 換

名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 所 東京都江東区東砂7丁目10番11号 〒137-8081
UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL(03)6683-5111(代表)

同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社本店および全国各支店

公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞・中日新聞

上 場 証 券 取 引 所 東京、名古屋および大阪の各証券取引所

ホームページのご案内



<http://www.toyota-shokki.co.jp/>



株式会社 豊田自動織機

愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 〒448-8671
TEL(0566)22-2511(代表) FAX(0566)27-5650